

復活節
説教

私たちが得た勝利

<Iコリント15:54～58>

安 辰 男 牧師 (新居浜グレース教会)



使徒パウロは第一コリント15:17～19節で次のように言いました。「そして、もしキリストがよみがえらなかったのなら、あなたがたの信仰はむなしく、あなたがたは今もお、自分の罪の中にいるのです。もし、私たちがこの世にあってキリストに単なる希望を置いているだけなら、私たちは、すべての人の中で一番哀れな者です。」

パウロは復活後の世界があることを強調しました。そして、もし復活がないとすれば、私たちほど哀れな者はいないと断言しているのです。ところでテキスト15:19節では次のように記録されています。「神に感謝すべきです。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。」

イエス様が勝利されたと言うことは、死に打ち勝たれたことであり、復活を意味する言葉です。ところで、その復活された主によって、私達も勝利できると言っているのです。これを一言で言うなら、イエス様の復活とは「私たちの復活」であり、イエス様の勝利は「私たちの勝利」だということです。それでは私たちが得た勝利とは具体的にどんな勝利なのでしょう。

まずはじめに「死の力から勝利した」ということです。

では、死とは何でしょうか。創世記を見ますと、神様はアダムに言われました。「それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」(創2:17)

神様はアダムに対して禁断の果実を取って食べてはならない、取って食べたなら必ず死ぬと言われたのです。ところで、アダムは禁断の果実を食べましたが、死んだのでしょうか。死にませんでした。では、神様は嘘をつかれたのでしょうか。「死」という言葉のヘブライ語の元の意味には「死ぬ」とか「破壊する」「殺す」というのがありますが、もっと深い意味としては「神様と人との繋ぐ輪が切れて、人生の目標が設定できない状態」の事を言い、それが「死」の意味なのだそうです。それなら納得ですね。確かに、アダムは神様との関係が正常ではなくなりました。彼は死んだのです。ところで、私たちが死の力から勝利したと言うことは、私たちの命はいつか終わる日があるけど、私たちも必ず主と同じように再び生き返る事を意味するのです。ですから、私たちが死に打ち

勝った者であるなら、どんな事があっても挫折してはなりません。なぜなら私たちは「死」から勝利した者たちだからです。しかし、ここでもう一度深く考える必要があります。果たして、私たちが生きる目的が、ただ単に繁栄し、豊かになって、子供たちが順調に成長することだけなのか、ということです。この世の全ての存在の目的は「物」自体にあるのではなく、その「物」を作った人の「ある目的」のために存在するのです。例えば、時計があります。時計は長い針と短い針がグルグル回るために存在するのではなく、私たちに時間を教えるために存在するのです。これと同じように、人間も食べて、寝て、仕事をして子供を育てるのが存在の目的ではありません。また、お金を稼ぐことだけが人生の目的でもありません。人間を造られた神様を崇めて、神様を信じて神様の御栄光を極めることこそ人生の目的があるのです。

二番目にキリストにあって、私たちが得た勝利とは何でしょうか。それは善をもって悪に勝利されたことです。ゲッセマネの丘でイエス様を捕らえに來た人に向かってペテロは剣を抜いて相手の耳を切り落としました。その時、主は耳を切られた人を癒しながら言われました。「剣をもとに納めなさい。剣を取る者はみな剣で滅びます。」

これを一言で言うなら、悪をもって悪に返してはならないと言われたのです。誰でも何か良い事があった時は感謝できます。愛する対象を愛することは犬でも猫でもします。良くしてくれる人を愛することは、信仰のない人でもします。私達が勝利する者になると言うことは、イエス様のように悪に対して悪をもって返さず、最後まで善を持って対処する事です。もし、私たちが復活されたキリストの中にあるなら、いっそのこと、負ける方を選ばなければなりません。いっそのこと、バカになる方を選ばなければなりません。相手を憎むことは、すでに自分が敗北していることを意味するのです。もし殴られても笑う事ができるなら、それは勝利を意味しているのです。

私たちが得た勝利とは死の力に打ち勝つ勝利です。そして、キリストの復活は歴史上の事実です。キリストの復活は私たちのための復活です。キリストの復活を信じる私たちも同じように復活するのです。

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国YMCAは皆様と共に歩みます。



東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。10名様～200名様会議及び宿泊研修(50名)も可能。

◆スペースYホール：200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。

◆韓国文化教室(チャング・カヤグム・舞踊) ◆韓国語講座

◆YMCA東京日本語学校(3ヶ月～2年、短期研修)

関西◆にほんご教室(新規開講・募集中) ◆韓国民俗芸術科(舞踊・チャング)

税込	平日	休日
シングル	¥6,700	¥6,200
ツイン	¥10,500	¥9,800
トリプル	¥13,500	¥12,600
※朝食¥200(宿泊者価格)		

在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/> *会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。

東京韓国YMCAアジア青少年センター 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5 ☎03-3233-0611

関西韓国YMCAアジア青少年センター 〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 ☎06-6981-0782

日本キリスト
教協議会

第40回定期総会開催

新総幹事に金性済牧師選任



日本キリスト教協議会（NCCJ）の第40回総会が、3月19日（月）～20日（火）、日本聖公会神田キリスト教会で開催された。

小橋孝一議長の開会礼拝説教の後、議事進行に入り、各報告と決算、役員選出と総幹事選任が承認された。本総会では、金性済牧師（前在日大韓基督教会総会長）が総幹事として選ばれ、金迅野牧師（横須賀教会）が前期に引き続き、書記に選ばれた。

本総会では、金柄鎬総幹事（常議員）、金性済牧師、金健牧師（常議員）、金迅野牧師、李明忠牧師、朴英遠長老、張晶洙（委任）が総代として参加した。第40回総会期のNCCJ役員は以下の通りである。＜議長：渡部信（日本聖書協会）、副議長：矢萩新一（日本聖公会）、小海光（ウェスレー財団）、書記：金迅野（在日大韓基督教会）、梶浜淳（日本聖書協会）、総幹事：金性済（在日大韓基督教会）＞

（報告：李明忠）

西南
地方会

教団九州教区と共同集会

「ヘイトスピーチを考える」テーマに



2018年2月25日（主日）西南KCC福岡ランチにおいて、日本基督教団九州教区との共同集会「ヘイトスピーチを考える共同集会Ⅲ～ヘイトに立ち向かうことと『和解』の間を歩む～」を行った。これまでの集会を受け、金迅野牧師（マイノリティ宣教センター共同主事/横須賀教会）を迎え、マイノリティ宣教センターの設立経緯や、ヘイトがなぜ起きるのかという根底の問題、赦しと約束は隣人がいて初めて果たせる働きという核心について学び合った。

また講演を受け、九州教区より長谷川渉教師（諫早）のコメントを分かち合い、質疑応答を交わし、教区議長の梅崎浩二教師（大牟田正山町）の祈祷で閉会した。何よりもキリスト教の連帯を体験した事としては、この集会に福岡地方バプテスト連合社会委員会の協賛が加えられた事である。学びと交わりを感謝する集会となった。

（報告：尹善博）

西部
女性会

各教会会長会議開く

年間活動、現状と祈りの課題確認

西部地方教会女性連合会の会長会議が2018年2月6日（火）神戸ハーバーランド温泉万葉倶楽部において開催され、22名（5教会）が参加した。崔恵美子会長の祈りと司会により始まり、各教会女性会会長より、年間活動、女性会の現状と祈りの課題の報告があった。

各教会女性会は、人数・状況は違っていても、その教会において大切な役割を担っており、神さまに栄光を捧げるため、共に祈り奉仕していることが確認された。

その後、書記による2017年度の活動報告があり、恵み豊かな時間となった。

（報告：尹豊子）



創立30周年に礼拝堂の献堂目指し

新潟教会は今年28周年を迎えます。1990年に日本基督教団東中通教会小礼拝室で最初の礼拝が始まり、同年10月1日に創立記念礼拝をもちました。92年4月5日に今の建物へ移り、97年9月29日には伝道所から教会に昇格しました。今まで教会を導いて下さった主に栄光をささげます。

これは、多くの苦難の中で教会を守りながら主を愛していた信徒たちがいたからこそ可能であったと思います。新潟教会は小さいけれども豊かな実を結ぶために、みな頑張っています。常に主の御言葉に従って生きようとしています。また何よりも主を熱く愛していこうと頑張っています。

そして私たちのせつなる祈りの題は、礼拝堂を建てることです。28年間家賃を支払い、しかも自由に夕礼拝を持つこともできない状況です。新しい礼拝堂で思いっきり賛美の声を揚げ、また宣教し、栄光をささげることが出来る時を祈っています。

新潟にある日本基督教団の教会は、みな自分の礼拝堂を持っているのだと思うと、更に心がせつなくなります。いま新潟教会は教団の教会と良い宣教協力関係を維持しています。連合会活動はもちろん、すべての行事に参加するなど良い関係を結んでいます。特に毎年秋の連合バザーを通じて交流を

持ち、韓国教会と韓国について紹介することによって、良い反応を受けています。牧師も2011年1月に赴任してから、ただ主だけを愛し主に使える人生を生きようと決心し、信徒とともに歩んでいます。新潟教会が30周年になる年には美しい礼拝堂の献堂を夢見て祈りつつ、牧師と信徒がともに主を熱心に愛し、これからも永遠にこの土地にみ言葉と御国を広げていく教会になりますよう祈ります。新潟教会のために祈ってください。

（李在益牧師）



第5回韓日5教団宣教師に関する 実務者会議を開催

2018年3月8日～9日、釜山の海松教会において韓日5教団宣教師に関する実務者会議が行われた。宣教師を受け入れる側の在日大韓基督教会と日本基督教団、宣教師を送る側の大韓イエス教長老会(PCK)、基督教大韓監理会(KMC)、韓国基督教長老会(PROK)の実務者が、宣教師の派遣、訓練、現地適応などの情報を共有し、良い方法を模索する会議であり、今回は韓国の釜山で行い、各教団において宣教師が問題を起こした際、それに対処する規則と事例を紹介して討議し、このような問題提起のもとに両国の教団において宣教師の危機管理や問題解決のためには新しい規則制定の必要性をシェアし、宣教協約文書の修正や改正などを行うことを、実務者会議から提起された課題をもって宣教協議会の開催を推進す

ることを話し合った。次の会議は2018年11月26日～27日に福岡で行うことにした。



全国教会祈祷カレンダー

* 宣教委員会は今年、毎主日に全国の各教会のために祈りをささげる祈祷カレンダーを製作しました。共に祈りで結ばれましょう。祈った後は、その旨を伝えましょう。

在日大韓基督教会宣教委員会

4月に全国教会が祈祷する教会

1日：ハンサラン教会(金根湜牧師)、東京調布教会(丁奎華牧師)
8日：東京聖山キリスト教会(金秉喆牧師)、愛の教会(李恵淑牧師)
15日：川崎教会(金健牧師)
22日：横浜教会(李明忠牧師)、横須賀教会(金迅野牧師)
29日：甲府ウリ教会(呉聖薫牧師)、長野教会(崔和植牧師)

人種差別撤廃デー市民集会 国連人種差別撤廃審査の課題と展望確認

マイノリティ宣教センターと人種差別撤廃NGOネットワークの共催で3月21日(休)、人種差別撤廃デー市民集会が開かれた。金性済前総会長(マイノリティ宣教センター理事長)が集会の意義について語った後、金永秀牧師(沖縄キリスト教学院大学)が沖縄の差別の歴史を、弁護士諸岡康子さんが日本における人種差別の現状を語り、また、移住女性、アイヌ民族、被差別部落、在日コリアンの代表が「当事者」の生の声を語った。約70名のキリスト者と一般市民が集い、この8月にくだされる国連人種差別撤廃委員会の日本審査に向けた課題と今後の展望について確認した。

集会の後、マイノリティ宣教センターの主催で、現代の抑圧を見つめ希望を見出すための実験的な祈りの会、そして設立一周年を記念する感謝会が開かれた。在日大韓基督教会をはじめ多くの方々のご協力に感謝したい。

(金迅野、マイノリティ宣教センター共同主事)



5 地方会の定期総会案内

< 関東地方会 第69回 定期総会 >

・日時：2018年4月30日(月) 10:30
・場所：東京希望キリスト教会
東京都荒川区東日暮里3-31-16、Tel03-3801-2660

< 中部地方会 第55回 定期総会 >

・日時：2018年5月3日(木) 11:00
・場所：名古屋南教会
名古屋市中港区品川町2-65、Tel052-653-0171

< 関西地方会 第69回 定期総会 >

・日時：2018年5月4日(金) 10:00
・場所：大阪北部教会
大阪市北区本庄東2-11-6、Tel06-6371-1914

< 西部地方会 第34回 定期総会 >

・日時：2018年4月30日(月) 10:30
・場所：神戸東部教会
神戸市中央区日暮通6-4-8、Tel078-241-5253

< 西南地方会 第68回 定期総会 >

・日時：2018年4月30日(月) 11:00
・場所：福岡教会
福岡市博多区千代5-11-48、Tel092-641-9551

在日大韓基督教会 宣教110周年 記念大会・合同修養会案内

日時：2018年8月12日(主日) 19:00～15日(水) 12:00

場所：在日本韓国YMCA(東京都千代田区猿樂町2-5-5、Tel03-3233-0611)

●標 語：「共に生きるいのちの天幕を広げよう」

●宣教課題：①多様な肢を包む教会
②幼く若いいのちと共に成長する教会
③福音と公正な秩序に立つ教会
④和解と共生平和をめざす教会

●内 容：開会礼拝、主題講演、宣教110周年記念大会、特別講演、讃美と証し、夕礼拝、分団討議、青年会の集い、女性会の集い、

壮年会(男性)の集い、教役者の集い、その他

●宿 泊：各自、各教会別に予約

●参 加 費：1人5,000円(4回食事代)

●参加申請：各 地方会 書記
(200名：関東80名、中部25名、
関西50名、西部25名、西南20名)

●参加申請：2018年6月30日まで

海外韓国人教会の教育と牧会協議会 第11回 大阪大会開催



私たちの総会が会員教団として参加し、海外に散らばっている韓国人教会の次世代の教育と牧会を重点に分ち合い共有している「海外韓国人教会の教育と牧会協議会」の第11回大会が、在日大韓基督教会の宣教110周年を迎えたことをきっかけに、2018年2月21日～24日、大阪教会と同志社びわこトリートセンターを会場とし、カナダ、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、韓国などから46名が参加する中で開催された。

第6回大会を、在日大韓基督教会宣教100周年を記念し、2008年に東京で開かれたことに続く今回の大会は「激動の歴史の中でディアスポラ教会の時代的使命（エレミヤ書29：1～14）」という主題で、韓国基督教教会協議会の総務である李鴻政牧師を講師に招き、5項目の発題を通して、今日直面している以下の課題を分かち合った。

第6回大会を、在日大韓基督教会宣教100周年を記念し、2008年に東京で開かれたことに続く今回の大会は「激動の歴史の中でディアスポラ教会の時代的使命（エレミヤ書29：1～14）」という主題で、韓国基督教教会協議会の総務である李鴻政牧師を講師に招き、5項目の発題を通して、今日直面している以下の課題を分かち合った。

(1) 次世代にシフトしていくディアスポラ教会(PCUSA朴性柱牧師)、(2) 高齢化していく海外韓国人社会に存在するディアスポラ教会(PCUSA池善黙牧師)、(3) 日本の社会の中で直面している在日同胞の宣教的課題(KCCJ許伯基牧師)、(4) 難民や環境問題の中の海外韓国人教会(NZPC韓敬均牧師)、(5) 南北韓の平和統一の道のりのための海外韓国人教会(NCCK李鴻政牧師)

海外韓国人教会の教育と牧会協議会は、アメリカ長老教会(PCUSA)、海外韓人長老会(KPCA)、カナダ長老教会(PCC)、アメリカ改革教会(RCA)、オーストラリア合同教会(UCA)、ニュージーランド長老教会(NZPC)、在日大韓基督教会(KCCJ)、および、大韓イエス教長老会(PCK)、韓国基督教長老会(PROK)を会員教団とし、2年ごとに地域を廻って大会が開かれており、次期の第12回大会は2020年2月18～20日にオーストラリアのシドニーで開催されることになった。

2年ごとに開かれる大会では、総会を開き役員改選を行うが、今回の総会では会長にPCUSAの池善黙牧師、6名の副会長のうちの1人に金鐘賢牧師、総務に金柄鎬牧師、会計に石橋真理恵伝道師が選出され、牧会分科委員に梁榮友牧師、教育分科委員に許伯基牧師が仕えることとなった。今回の大会に会場を提供し、食事や交通の便に奉仕された大阪教会と関西地方会、また牧師たちに感謝する。(報告：金柄鎬)

NCCK平和統一宣言30周年大会 金鐘賢総会長他3名が参加

2018年3月5日～7日、ソウルにおいて韓国基督教教会協議会(NCCK)88平和統一宣言30周年平和会議が開催された。

1980年代初期に、北朝鮮にもキリスト教会があり、毎主日に礼拝をささげているという事実を知り、世界教会協議会(WCC)が主管し、韓半島の平和統一のための南北キリスト者の歴史的な最初の出会いが、1984年の日本の東山荘会議を経て、1986年スイスのグリオンにおいて叶った。そして1988年韓国仁川においての韓国基督教教会協議会(NCCK)での南北の平和統一のための宣言を始まりとし、南北のキリスト者の平和統一のための動きが始まった。

しかし、その当時の韓半島の時代状況が南北の人々が自由に往来できる時期ではなかったのは勿論、そのような集会や宣言自体が当局によって禁止されていたため、在日大韓基督教会は、＜祖国の平和統一のための基督者東京会議＞を1990年7月に開催し、南北及び海外同胞のキリスト者の出会いの場を作ってきた。その後、この会議は南北のキリスト者が韓半島で会えるようになった2002年頃まで8回にわたって開催され、在日大韓基督教会の大きな宣教的な実りとなった。

NCCKは今回1988年の平和統一宣言30周年を迎え、世界の教会の指導者が共に集い88宣言を回顧し、また平昌冬季オリンピックによる、南北の和解のための対話の扉が開かれようとしているというニュースに接し、新しい韓半島の和解と平和統一のための宣言文を採択した。

KCCJは総会長金鐘賢牧師と宣教委員長鄭然元牧師、及び総幹事金柄鎬牧師が招待され参加し、金性済牧師がNCCJ総幹事内定者として発題講師として参加した。



豊かな味、豊かな心。



代表取締役 吳永錫 (東京希望キリスト教会 長老)

四谷本店：東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100

2018年度宣教師・神学生研修会

在日大韓基督教会に加入する宣教師と、神学校を卒業し伝道師試験を受験するために研修会を実施します。

- 日 時：2018年7月9日(月)17:00～19日(木)17:00
- 場 所：(講義・宿泊) 在日総会神学校
(東京都足立区西新井本町4-5-1)
- 履修課目：在日同胞史、KCCJ歴史、KCCJ神学及び宣教理念、憲法と規則、日本教会史と神学、エキュメニカル神学、礼式書、年金、福祉など日本生活全般、教会と現場訪問等
- 交通費・参加費：総会が負担します。
※4月30日まで総会事務局の総幹事メールに申請してください。
(kimbyungho@kccj.jp)
- ※詳細は総会事務局に問い合わせください。(総幹事080-4377-3927)

総会奨学生 募集案内

総会神学生として各地方会にて認定され、1年を経過した者が申請できます。

書類は、総会ホームページ<http://kccj.jp.archives/2941>からダウンロードしてください。

- 募集人員：3名
- 支給金額：年額200,000円/1人
- 支給期間：1年間(受給者は、継続して新たな申請必要)
- 必要書類：①奨学金申請書、②在学証明書、③成績証明書、④履歴書、⑤堂会長推薦書、⑥総会神学生認定書(各地方会試取部)⑦各地方会長承認書

●書類提出先：総会事務局

●締め切り：2018年4月30日必着